

# 総務委員会情報連絡

令和4年6月24日

情報連絡事項	頁
1 区内刑法犯認知件数と今後の予定について . . . . .	2
2 六町駅前安全安心ステーションの地域活用について . . . . .	8
3 「ながら見守り」有効性検証の研究協力について . . . . .	9

**【参考】**《災害・オウム対策調査特別委員会報告事項》

※資料は、災害・オウム対策調査特別委員会（危機管理部）の報告資料にあり

- 1 アレフ（オウム真理教）対策について
- 2 「震災時避難所運営手順書」作成の進捗について
- 3 今後の公有地等の活用における避難所整備の考え方について
- 4 東京都の首都直下地震等の新たな被害想定について
- 5 令和4年度地区防災計画及びコミュニティタイムラインの策定支援について

(危機管理部)

# 総務委員会情報連絡

令和4年6月24日

件名	<b>区内刑法犯認知件数と今後の予定について</b>				
所管部課名	危機管理部 危機管理課、犯罪抑止担当課				
内 容	<b>1 令和4年（4月）の刑法犯認知件数</b> <b>（1）区内の状況</b>				
		4月中	4年累計	前年同期比	足立区の罪種別順 (4年累計・降順)
	合 計	<b>257</b>	<b>1107</b>	<b>+117</b>	<b>2位</b>
	凶悪犯	3	7	+3	<b>8位</b>
	粗暴犯	27	112	+14	<b>3位</b>
	侵入窃盗	13	75	+50	<b>1位</b>
	非侵入窃盗	146	669	+56	<b>3位</b>
	自転車(内数)	49	265	+27	<b>5位</b>
	その他	8	19	-9	<b>6位</b>
	<b>【目標値への指標：令和4年刑法犯認知件数2,999件】</b>				
	目標値への指標		4月結果	指標との差	
累計（4月）	996件以下		1107件	+111件	
単月	249件以下		257件	+8件	
<b>（2）区内警察署別状況</b>					
	<b>足立区全体</b>	千住署	西新井署	竹の塚署	綾瀬署
4月単月	<b>257</b>	39	91	70	65
令和4年	<b>1107</b>	173	362	301	271
令和3年	990	152	357	199	282
増 減	+117	+21	+5	+102	-9
増 減 比	+11.3%	+13.8%	+1.4%	+51.2%	-3.9%

(3) 23区比較

	最下位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
全刑法犯 (昨年同月)	新宿区 1440件 (1414件)	<b>足立区</b> <b>1107件</b> <b>(990件)</b>	世田谷区 1057件 (1334件)	大田区 1034件 (1132件)	江戸川区 960件 (1049件)	渋谷区 937件 (1012件)	豊島区 915件 (1048件)	中央区 875件 (865件)
	333	50	23	74	23	22	40	
自転車盗 (昨年同月)	世田谷区 341件 (430件)	練馬区 334件 (365件)	大田区 320件 (379件)	江戸川区 268件 (356件)	<b>足立区</b> <b>265件</b> <b>(238件)</b>	新宿区 258件 (253件)	中野区 242件 (192件)	葛飾区 201件 (181件)
	7	14	52	3	7	15	41	

※順位間の数値については、左右順位との差

(4) 分析概要

総件数：1107件、前年比：+117件、増減率：+11.6%

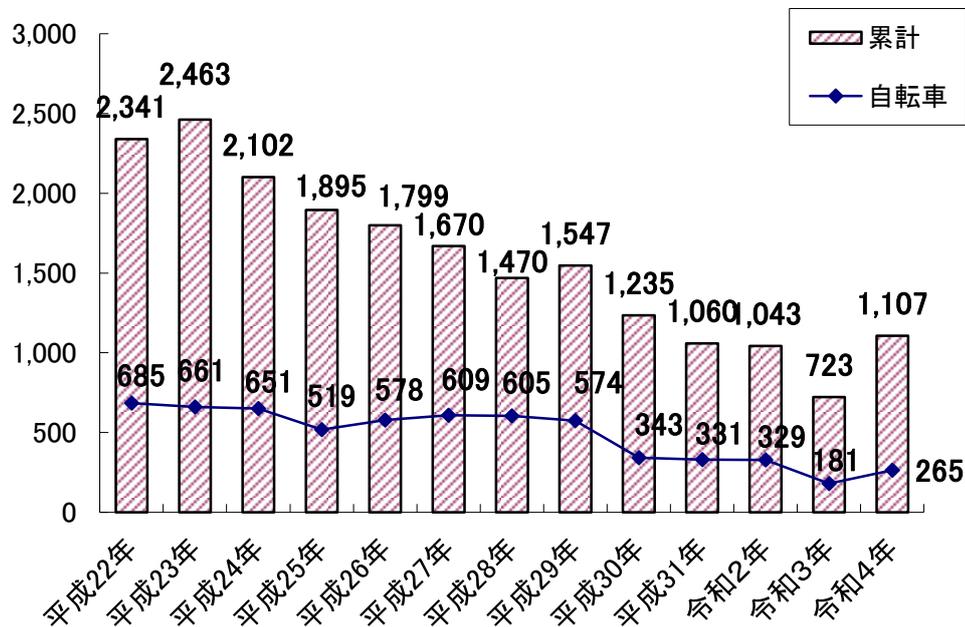
最下位（新宿区）との差：333件

人口比：上位13位、面積比：上位8位

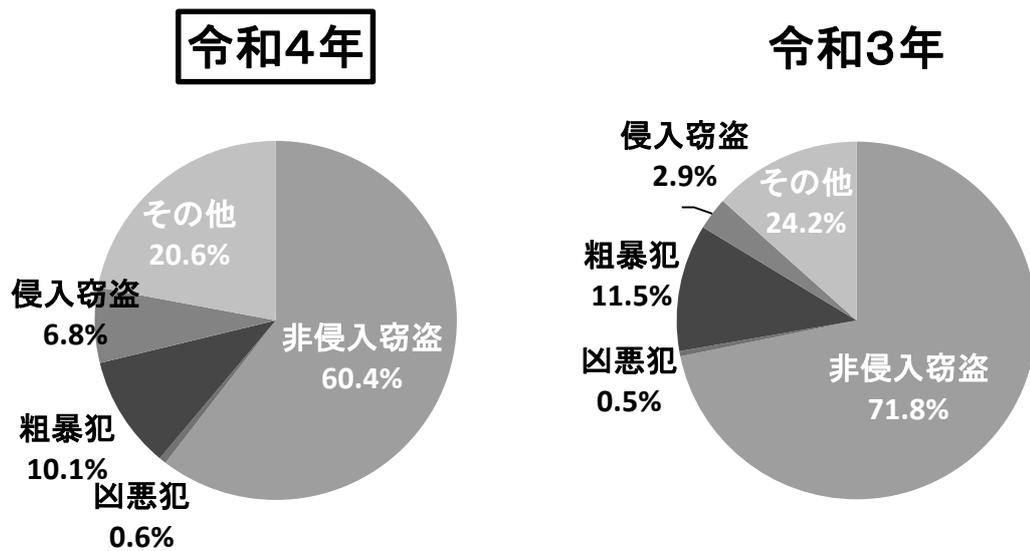
自転車盗：265件、前年比：+27件、増減率：+11.3%

刑法犯認知件数に占める割合：23.9%（令和4年3月末25.4%）

(5) 刑法犯認知件数（4月末）に占める自転車盗難件数



(6) 刑法犯認知件数（4月末）における罪種別割合（小数点第一位まで表示）



(7) 特殊詐欺被害の認知状況

ア 都内の被害認知状況

4月末 件数 845件（前年同期比 -338件）  
 被害額 約16億9,999万円（前年同期比 約-7億9,188万円）

イ 足立区内の被害認知状況

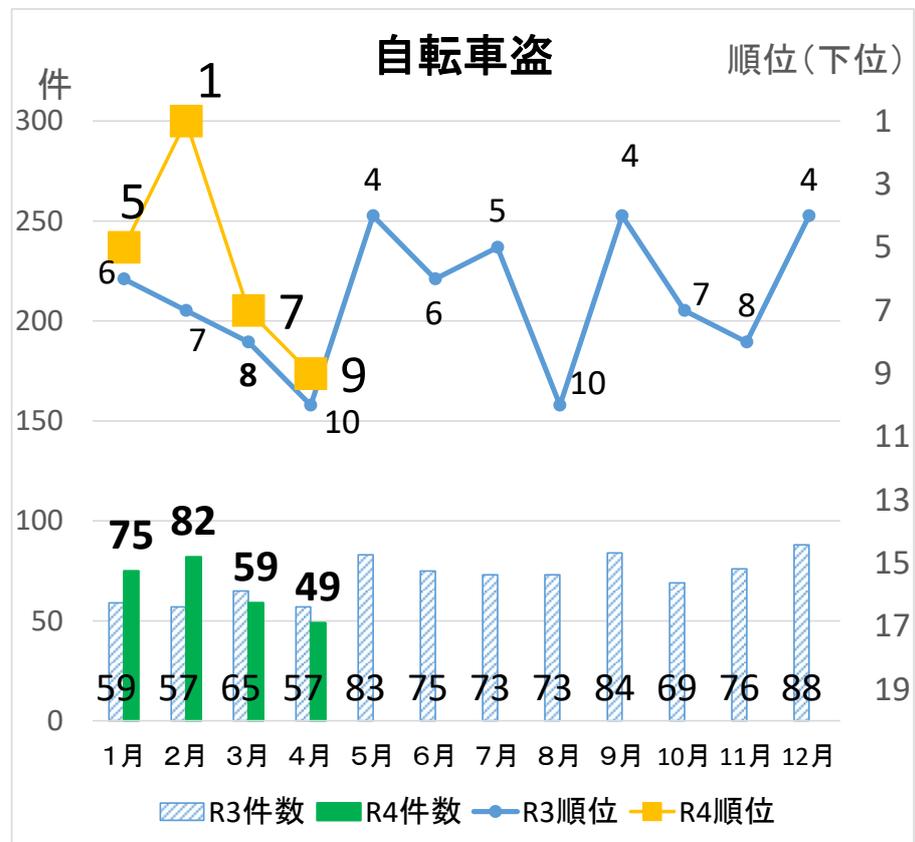
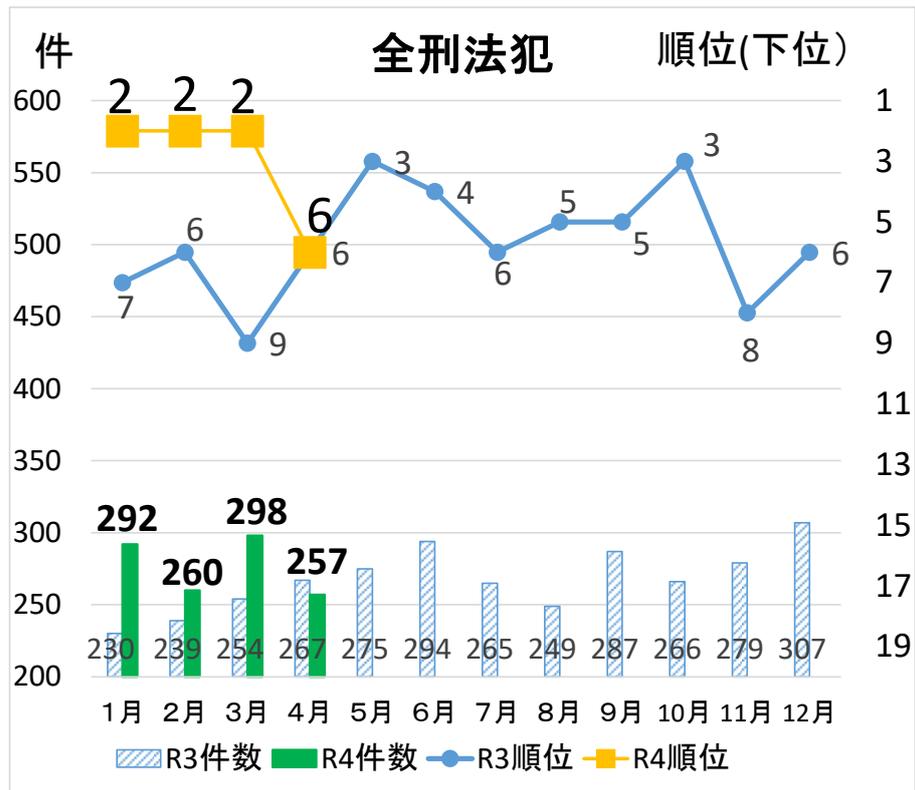
4月末 件数 19件（前年同期比 -1件）  
 被害額 約1,767万円（前年同期比 約-3,942万円）

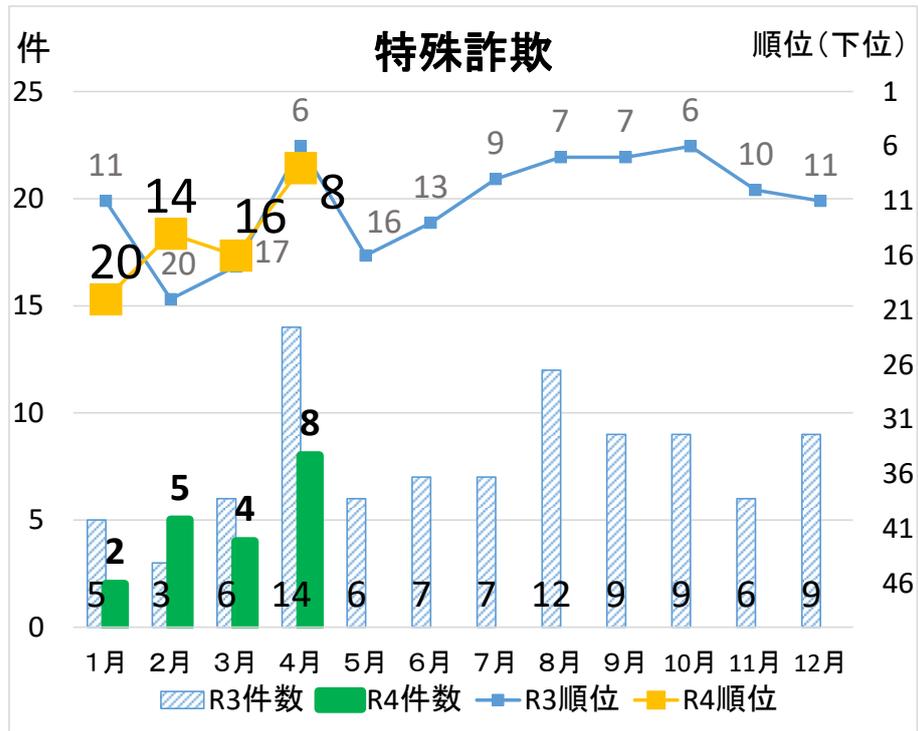
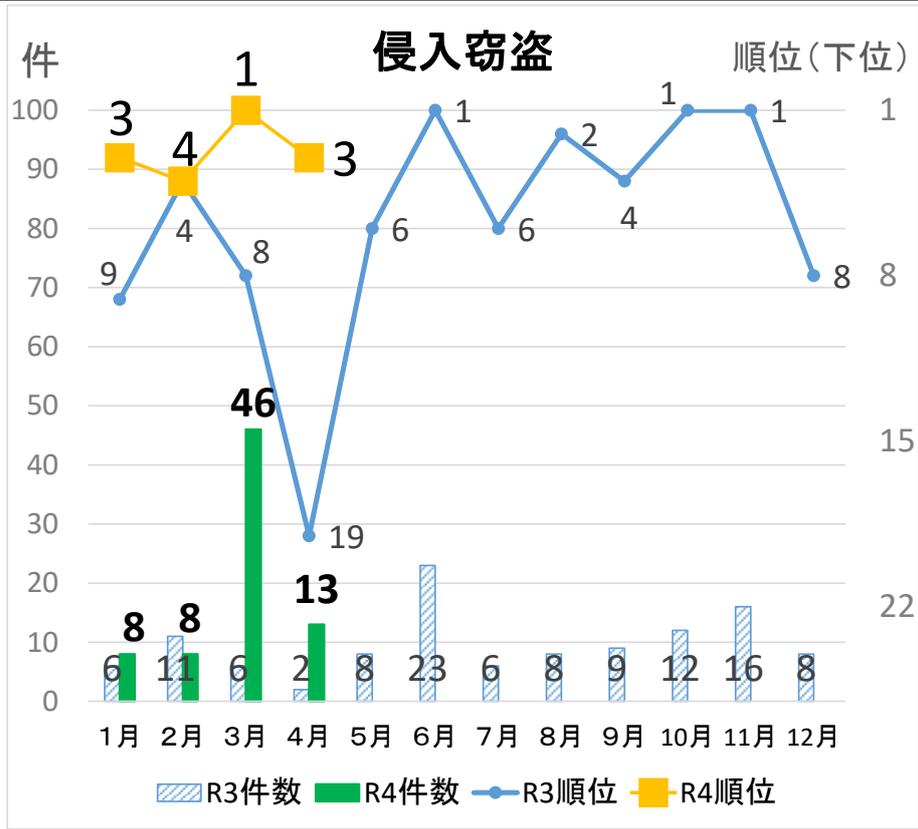
○内訳

	足立区全体	千住署	西新井署	竹の塚署	綾瀬署
発生件数	19	2	9	5	3
オレオレ詐欺	6	0	5	1	0
預貯金詐欺	12	2	4	3	3
架空請求詐欺	0	0	0	0	0
融資保証	0	0	0	0	0
還付金	1	0	0	1	0
詐欺盗	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
被害額	1,767	400	900	120	347

※被害額単位は万円

(8) 各月ごとの犯罪認知件数及び順位 (23区降順)





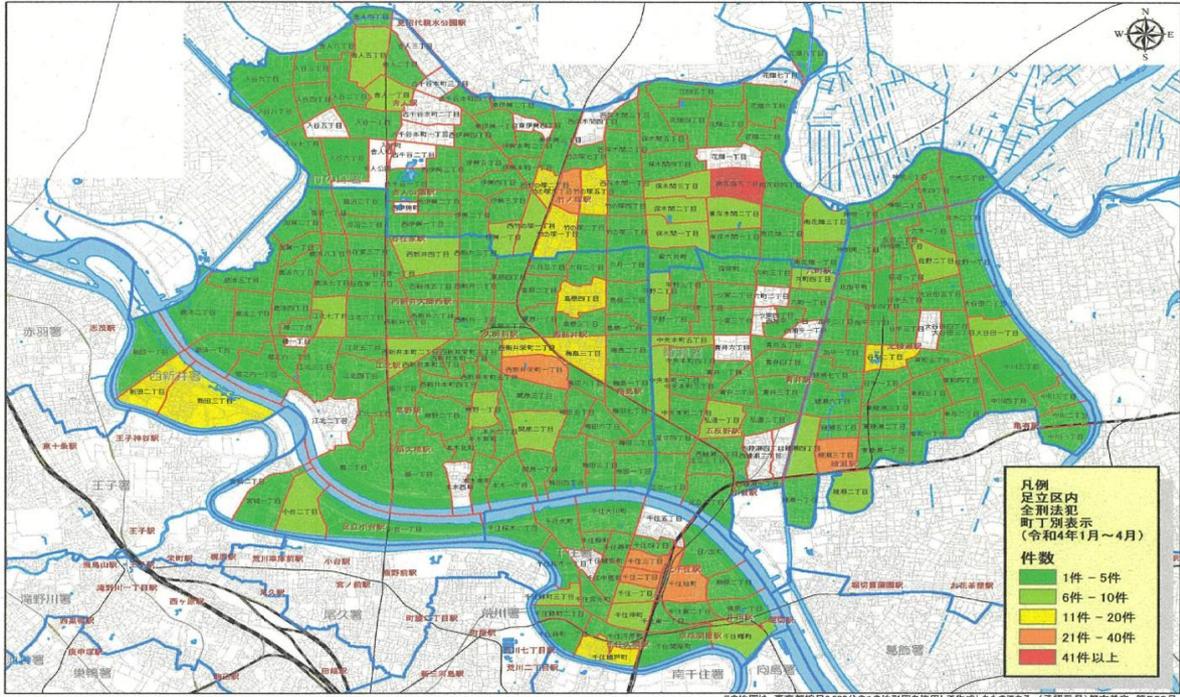
(9) 町丁別犯罪発生状況  
※別紙参照

問題点  
今後の方針

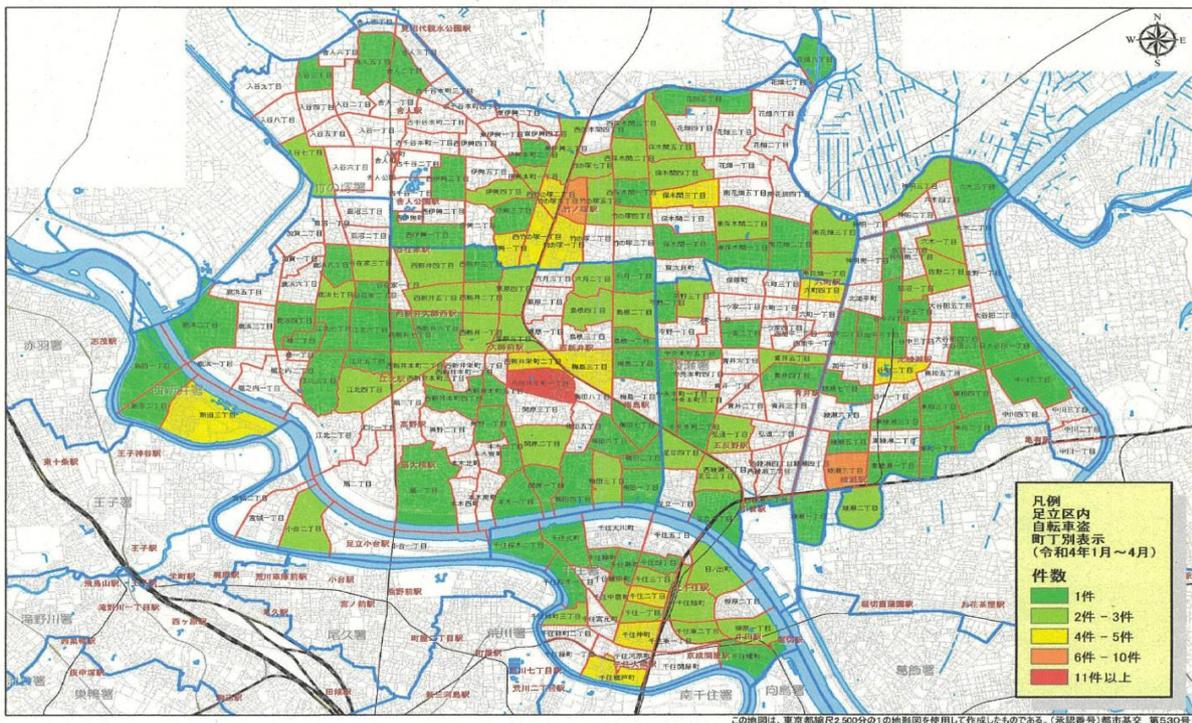
# 町丁別犯罪発生状況

別紙

## 1 令和4年足立区内全刑法犯（4月末）



## 2 令和4年足立区内自転車盗（4月末）



# 総務委員会情報連絡

令和4年6月24日

件名	六町駅前安全安心ステーションの地域活用について
所管部課名	危機管理部 危機管理課
内容	<p>令和3年11月に開設した六町駅前安全安心ステーションについては、今後、地域の防犯活動などに広く活用してもらうために、次のとおり取り組んでいく。</p> <p><b>1 活用場所</b> 駐車場（1階）、ろくまるホール（1階）、防犯相談室（3階）</p> <p><b>2 活用事例</b> （1）防犯に関する町会・自治会等の打ち合わせ （2）認知症サポーター養成講座実施後、ろくまる勤務員による防犯に関する講和の実施 （3）健康体操のイベント実施後、ながら見守りの登録PRの実施</p> <p><b>3 活用方法</b> 事前に危機管理課生活安全推進担当へ相談 ※ 日程重複や内容に応じて活用ができない場合あり</p>
問題点 今後の方針	地域の町会・自治会等に周知を行い、幅広い活用を推進する。

# 総務委員会情報連絡

令和4年6月24日

件名	「ながら見守り」有効性検証の研究協力について
所管部課名	危機管理部 危機管理課
内容	<p>ながら見守り活動について、次のとおり協力依頼があったため報告する。</p> <p><b>1 研究の概要</b></p> <p>(1) 実施者</p> <p>ア 主担当：筑波大学雨宮准教授（区防犯まちづくり推進アドバイザー） 筑波大学大学院生</p> <p>イ 副担当：東京大学樋野准教授（区防犯専門アドバイザー）</p> <p>(2) 目的</p> <p>ア ながら見守り登録者の活動実態の把握</p> <p>イ 活動の評価、効果的な活動支援策の検討</p> <p>(3) 実施期間</p> <p>令和4年～5年度の2か年</p> <p>(4) 実施方法（案）</p> <p>ア ながら見守り登録者への全数アンケート（9月発送）に、筑波大学からの「研究協力依頼」を同封、協力者を募集する。</p> <p>イ 小型GPS、活動日誌を用いた活動データ計測（協力申出者）</p> <p>(5) 分析、評価</p> <p>ア GPSデータと、活動日誌データや属性との紐づけによる解析</p> <p>イ 従来型防犯パトロールとの比較、評価</p> <p>ウ 犯罪データとの比較、評価</p> <p>エ 歩行量換算による健康面など副次的効果の検討</p> <p><b>2 今後の予定</b></p> <p>(1) 区と筑波大学の協定書締結（費用、結果の帰属など） [7月]</p> <p>(2) 筑波大学システム情報系研究倫理審査委員会の承認 [8月]</p> <p>(3) 協力申出者確保のため、メールマガジン等によりPRを行う [適時]</p>
問題点 今後の方針	<p>個人情報保護の観点から情報の収集や利用の方法について、適切に対応する。</p> <p>実施スケジュール、協定書等について、筑波大学と調整を進め、詳細を改めて報告する。</p>